

補助事業番号 2022M-150
補助事業名 2022年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業
補助事業者名 広島県

I 振動試験機

1 補助事業の概要

振動試験機を更新した。本装置により、輸送用機械器具製造業、電子機械器具製造業をはじめとする様々な製造業分野において、自社製造した機器・部品が振動や温湿度の変化の環境に耐えることができるかどうかを確認することができるようになり、地場中小企業の製品価値向上を支援する体制が整った。

2 予想される事業実施効果

更新した装置は、恒温恒湿槽を備え、様々な波形の振動を与えることができ、かつ、ショック波を提供することができる等、従来機では不可能だった厳しい条件下での試験が可能となった。また、耐荷重も大きくなり、より大型な部材への試験を行えるようになった。今後、大幅な需要増が見込まれる電気自動車関連の耐久性試験に適用可能なので、より幅広く多数な企業からの利用が期待できる。

3 本事業により導入した設備

①振動試験機

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/vibrationtestingmachine.html>)

本装置は、電気、機械などの工業製品の振動に対する耐久性を評価する装置である。製品が使用環境や輸送時に受ける振動によって、故障や機能障害がないことを確認するために使用する。付属の恒温恒湿槽と組み合わせることで、水平、垂直両方向の「複合環境試験」を行うこともできる。



設置場所：【広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター】

②本事業に係る印刷物等

ロビー展示ポスター（配布用）

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/513614.pdf>)

II 圧縮強度試験機

1 補助事業の概要

圧縮強度試験機を更新した。本装置は、鉄筋コンクリート施工法におけるコンクリート強度試験に用いられている。本事業により、広島県東部を中心とする備後圏域の建設業からの試験依頼への継続的な支援体制が確立された。

2 予想される事業実施効果

更新した装置は、測定上限が100 kNから200 kNに上がっており、高強度のコンクリートに対しても圧縮試験を行うことができる。また、安全性が飛躍的に向上したことから、作業効率の大幅なアップを見込める。

3 本事業により導入した設備

①圧縮強度試験機

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/vibrationtestingmachine.html>)

本装置は、当センターでは主にコンクリートの圧縮強度に係る依頼試験で使用されている。本装置の更新により、測定上限が2000 kNとなり、高強度のコンクリート試験にも対応可能となった。



設置場所：【広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター】

②本事業に係る印刷物等

ロビー展示ポスター（配布用）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/513615.pdf>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 広島県

広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター

（ヒロシマケンリツソウゴウギジュツケンキュウショ トウブコウギョ
ウギジュツセンター）

住所： 〒721-0974

広島県福山市東深津町3-2-39

代表者： センター長 大賀 誠 （オオガ マコト）

担当部署： 加工技術研究部 （カコウギジュツケンキュウブ）

担当者名： 主任研究員 佐々木 秀和 （ササキ ヒデカズ） ※振動試験機

主任研究員 大石 郁 （オオイシ カオル） ※圧縮強度試験機

電話番号： 084-931-2402

F A X： 084-931-0409

E-mail： ekogijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

U R L： <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29>